

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 10 月 1 日

設置・運営主体	春日部市		
設置主体	春日部市		
経営主体	春日部市		
事業所名 (施設名)	春日部市立第 5 保育所	種別	保育所
所在地	〒 344-0011 春日部市藤塚 4 2 8 - 1		
電 話	0 4 8 ( 7 3 5 ) 8 4 7 1		
FAX	0 4 8 ( 7 3 5 ) 8 4 7 1		
Email	<a href="mailto:hoiku05@city.kasukabe.lg.jp">hoiku05@city.kasukabe.lg.jp</a>		
URL			
施設長氏名	大脇 直子		
調査対応担当者	大脇 直子 (所属、職名：春日部市立第 5 保育所所長)		
利用定員	100 名	開設年	昭和 47 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念 一人ひとりの子どもに寄り添い、家庭や地域の人々と協力し合って、豊かな人間性を持った子どもを育成します</p> <p>保育目標 明るく元気な子 思いやりのある子 自分で考えて行動できる子</p> <p>保育方針 (1) 心身共に健康に、安全で安定して過ごすことのできる環境の中で楽しく活動します (2) 地域の人や異年齢・異文化の様々な関わりを通して一緒に遊び楽しさを体験しながら、優しい心を育みます。 (3) 自然や身の回りの様々なものを遊びに取り入れ、物を大切にすることや生命の尊さに気づける経験を重ねていきます (4) 「おもしろい」「やってみたい」という気持ちを大切に、意欲的に様々な活動に取り組む中で、自己を十分に発揮する力を育みます (5) 言葉への興味や関心を育て、豊かな心・思考力・表現力の基礎を培います (6) 一人ひとりを大切に、個性や個人差に考慮した保育を行います (7) 地域から信頼される保育所をめざし、積極的に子育て支援を行います</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日～土曜日(祝日は除く) 7:00～19:00		

**【利用者の状況に関する事項】**

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	3	1		2
1歳児	12	8	1		2
2歳児	18	12	1		2+1
3歳児	20	15	1		2+1
4歳児	20	14	1		1
5歳児	21	15	1		1
計	100	66	6		12

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

**【職員の状況に関する事項】**

○保育所の場合

常勤職員数		19人	
うち	保育士	18人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	0人	その他（委託調理員） 2人
非常勤職員数		2人（常勤換算 0.8人）	
うち	保育士	2人	（常勤換算 0.8人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	委託調理員 5人	（常勤換算 人）
	その他（委託用務員）	2人	（常勤換算 1人）

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1人	非常勤： 0人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 0人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		歳（ 41.5 歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		年（ 11.5 年）	

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。



### 【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	701.02 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	7.01 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	47年

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・連絡帳のやりとりだけでなく、朝の受け入れや迎え時の引き渡しの際に、家庭での様子を聞いたり保育所での様子を伝えたりする時間を大事にしている。短い時間ではあるが、保護者とコミュニケーションを取り、話しやすい雰囲気作りを心がけ、保護者の声を直接聞く機会を作っている。また、施設面における不安を受け止め、修繕についての経過報告なども知らせるようにしている。  
・年3回のクラス別懇談会や保護者の希望による個別懇談会を実施している。個別懇談については、まずは保護者の話を傾聴する姿勢で行い、気持ちに寄り添うようにしている。  
・1日保育士体験に参加して下さった保護者から感想やご意見をいただき、職員の励みにしたり、振り返りにつなげたりしている。  
・保護者会アンケートの要望に関して、回答書を作成し、保護者会会長へ手渡しし、所内に掲示している。

## 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・保育テーマとして、全クラス1年を通して「リズム運動」を週1回取り入れ、日常生活において転びにくい身体作りを行っている。0歳児クラスから年齢に合わせた全身運動を取り入れ、運動能力体力向上につなげている。また、運動会や保育参観時にも保護者に披露し成長を感じていただく機会を設けている。
- ・見通しのよい所庭で、のびのびと活動し、花や虫の観察も楽しむことができる。日当たりのよい畑では季節の野菜を栽培し、収穫したり給食で食したりしている。隣接する香取神社では季節を感じながら、散策を楽しんでいる。
- ・栄養士による食育教室を年4回実施している。食への関心を深め、食べることを楽しみにする意欲につながっている。また、毎月の食育献立、絵本献立など身近な食材への興味を持つことにつながっている。5歳児クラスは、食育活動としてクッキング保育や市内の農家で収穫体験を行い、野菜や果物実り方や収穫の楽しさ、おいしさを感じることができる。
- ・臨床心理士による発達巡回指導を年3回受けている。気になる子や支援の必要な子への対応を保育士が学び、対応を見直したり、保護者の悩みに寄り添いながら支援していけるようにカンファレンスを活用している。また、担任だけでなく保育所職員が共通に理解し、対応できるようケース会議も設けている。
- ・地域交流会、一時預かり、子育て電話相談を実施している。安心して利用してもらえるように丁寧な対応、受け入れを心がけ、地域の子育て家庭を支援している。
- ・5歳児クラスはサッカー教室や防犯教室、交通安全教室など外部の方に依頼して実施している。

## 【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

1 回 （令和 2 年度）